

めじろむつみクラブ(MMC)会報

【第 35 号】 2016年(平成 28 年)5 月 1 日発行

特定非営利活動法人(NPO)

めじろむつみクラブ(MMC)事務局

住所: 八王子市めじろ台2-37-12

tel: 080-1038-6875

<http://www.hachioji-mmc.com/>

【理事長挨拶】

新緑がまぶしい季節になりました。会員の皆さま、元気にお過ごしでしょうか？

私事で恐縮ですが、私は昨年12月中旬、自宅で洋服筆筒の引出しを開けようとしゃがみこんだ時に第十二胸椎を圧迫骨折してしまい、3か月間入院し、リハビリを行いました。

病院の方々には大変親切にお世話になり、改めて健康の重要性をつくづくと身に染みて感じました。皆様におかれましてもお体に十分注意され、お過ごしください。

さて、NPO法人めじろむつみクラブは発足以来、地域に根付いた活動で皆様に親しまれて参りました。さらに28年度はリーフレットの刷新や、新しい企画を検討し、実行に移すべく準備中です。

皆様の益々のご支援をよろしくお願いいたします。

理事長 高橋 光男



【平成 27 年度の状況】 (3 月 31 日現在)

(1) 生活支援事業

4 月 1 日からの作業件数は 126 件、金額は 3,773,400 円 (26 年度は 133 件、3,853,000 円) と昨年度に比較し、多少減少しました。

作業内容は、植木剪定、除草作業が 53% を占めますが、家屋内外の小規模作業も 17% で 27 件依頼がありました。

最近空家が増えてきましたが、植木の伐採、除草、管理の作業も増加してきています。変わった作業では蜂の巣撤去、不要材の処分、室内の内装作業等も行っています。



めじろ台 Y 邸の内装作業



梶田町 Y 邸の排水管詰まり修理

(2) 講座開設事業

27 年度は 6 月に歴史講演会「戦国の城は民衆の危機を救った・・・滝山城の場合」を中世城郭研究家 中田正光氏により熱のこもった話を聞かせてもらいました。



12 月にはクリスマスコンサートを開催。クラシックギター演奏の大野元毅さんと南久松真奈さんによる歌、踊り、詩の朗読と変わった趣向で行いました。

3 月には今回も中央大学落研メンバー 4 人による落語公演、最近では女性の進出があらゆる面で目覚ましく女性落語も中々堂に行ったものです。

なお、「クリスマスコンサート」と「落語公演会」の開催については公益信託オラクル有志の会ボランティア基金による助成金を頂くことが出来、財政的に非常に助かりました。

(3) 地域交流事業

1) 有償事業

作業延箇所は 39 箇所、金額は 611,050 円（26 年度は 49 箇所、846,990 円）で昨年と比べ大幅に減りました。26 年度は駅前店舗横植栽ポット作業や万葉公園子供文庫扉取付けもありましたが、27 年度は主として各町会を通しての空地の草刈、空家の植木伐採、駅前喫煙スタンド清掃他であったためです。

2) 趣味の作品展

11 回目を迎えた「趣味の作品展」は 11 月 21-22 日の 2 日間にわたり、開催されました。出展数は、めじろ台地区内外の個人、老人ホーム、小学生の絵画、工作等で 137 点、鑑賞者も 386 人と賑わいました。

【トピックス】

「はちコミねっと」の運用開始

八王子市では、市民活動の活性化を目的に、八王子コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」を 28 年 3 月 1 日より開設しました。

八王子市内には NPO 法人や、色々な団体が数百もあり、個々にホームページを持って情報発信したり、また、持たない組織もあります。

市民の方がインターネットを通して各組の情報を得られるようにしたもので、市の市民活動推進部が担当しますが、運営は NPO さぼーと 802（八王子市市民活動支援センター）が行います。パソコン等で「はちコミねっと」と打ち込み、はちコミねっと画面で団体名「めじろむつみクラブ」と打ち込むと MMC の情報を見ることができます。

【28 年度について】

(1) 広報活動

4 月 3 日、めじろ台万葉公園桜まつりで MMC は会場作りのお手伝いとして軽トラで出店用や、観客用の椅子、テーブルを運ぶとともに出店して会の PR をしました。

(2) 6 月 4 日、八王子市みなみ野の栃谷戸クラブの創立 10 周年記念祝賀会において、MMC は講演を依頼されました。昨年、八王子市志民塾生がめじろ台を訪問した際、会館でパワーポイントを利用して MMC の活動状況を説明しましたが、訪問した塾生が所属するクラブ会員にも知っ



桜まつりで募集活動

てもらいたいとのことで依頼されました。タイトルは「安心して住みよい街づくりをめざして」で、町会の代表者とともに我々の活動状況について話をします。

【新規会員の紹介】

新年度に入り、**荒銭智士さん**、**村井真人さん**が入会されました。

【MMC事務所&カフェの開設】



去る4月5日(火)にMMCの活動拠点、会員の皆様のコミュニティの場所として、めじろ台3-35-1の佐藤宅の1室に念願の「MMC事務所&カフェ」が開設されました。

テーブル1脚と椅子10脚(八王子市市民活動センターのゆめおりファンドからの譲渡)が用意され、打合せ、会議(10人程度迄)、業務連絡等、今後の活動の場として活用し、併せて、珈琲を飲みながらの会員相

互間のコミュニケーションが図れる場所としてゆきたいと思えます。

開設日、時間は週3回、火曜日、木曜日、土曜日の午前9時30分~午後12時30分の間ご利用、お立ち寄りいただけます。

事務、会議のために、IT機能(ミニ)化を進めながら、機器類の充実と活用を図っており、室内には、光回線とWiFi機能が設置されています。機器としては、A3対応のコピー機(MMC購入)、PCと連動の32インチテレビ(借用)、PC2台(会員からの提供・借用)、白板ボード、書類ボックスが設置され、打合せ、会議等でのペーパーレス化を進めております。

尚、事務局グループでは、諸連絡、資料送付のため、メーリングリスト(登録されている複数の人に同じPCメールを配信できる仕組み)の活用を図っており、時間、手間の短縮化、迅速化を図ることにしています。

カフェの展開としては、珈琲を飲みながら会員の皆様の懇親、情報交換、会話の場作りとして利用できることを考えております。珈琲を入れ、飲むためにコーヒーメーカー、コーヒーカップ、資材類、菓子類は事務局会員の方々から提供され、皆様のご期待に添えるよう準備されております。

会員の皆様には、まず一度お寄りいただき、そして場としての活用をしていただければ幸いです。

(事務局)

MMCめじろ寄席2015を開催

日時：3月8日(日) 13:00~14:30

場所：めじろ台第一会館

会費：300円

恒例の中央大学・落研メンバー4人を招いての「めじろ寄席」。

今回は演者4人のうち女性が3人!

当日は会場ほぼいっぱいの51人、大いに笑って、地域交流の場を持ちました。

①笑っ亭いとも： 演目「看板のピン」

鉄火場で若い衆がきょうもサイコロ賭博を御開帳。丁だ半だとやっている。そこへ42年も前に博打を止めた60過ぎの親分が現れる。若い衆には博打の悪さを説いてみたものの、景気付けに胸を取って欲しいと頼まれる。振った粒が壺皿の外にポトリとこぼれ、「一」（ピン）が出ていた。「親分いいんですかい」「目が揃ったら、看板のピンはこうして片付けて・・・」

中は五だな。壺の中は五が出て、一同啞然。これに感心して自分も真似したくてたまらない奴が出てくる。別の賭場に行って、わざとピンをこぼす。「さあ張んな。看板のピンはこうして片付けて」「おい！ピンは看板かい。」「あっしが見るところ中は五だな。これに懲りたら博打は・・・。あっ中もピンだ」



②金麦2（マネーむぎむぎ）： 演目「やかん」

この世で知らないものはないと広言する隠居。一番大きい動物は何かから始まり、魚の名前に聞き及ぶ。鰻は昔は「のろ」といった。鵜が呑み込んだが大きいので全部吞めず四苦八苦、鵜が難儀したからと。話は次々と。「じゃあやかんは？」これには物語があると。合戦で兜の代わりに「水わかし」をかぶって、敵を迎え撃つ。敵が一斉に矢を放つと、「水わかし」に当たって「カーン」という音。これが「やかん」だ。やかんの口は何故？名乗りが聞こえないといけないうので耳代わり。かぶったら下を向くが。その日は大雨、雨が入ったら中耳炎になる。耳なら両方ありそう。無い方は枕をつけて寝る方だ。

③三流亭迷惑： 演目「錦の袈裟」

町の若い衆が久しぶりに、今夜吉原にと相談がまとまる。隣町の連中との遺恨もあり、向こうが緋縮緬でカッポレなら、こっちは錦の禪をあつらえて。あぶれそうになった与太郎はカミさんに相談、入れ智慧もあり、寺の和尚に一晚だけ袈裟を借りることになった。袈裟だけに前の方に袈裟輪という輪がぶらぶら。きょうのお客さんは、大名と家来とみられた。「大名さんのは小便をなさる時にお手が汚れるといけないうから、固定する輪だ」とみられた。与太郎は殿様気分。他の連中は家来。翌朝、家来の連中が起きてこない与太郎を起しに。「うるさい！」と相手にしない。花魁に起こしておくれと頼む。

花魁「どうしてもお前さん、今朝は帰さないよ」「いけない！袈裟＝今朝返さないと寺でお小言だ！」

④五月小五郎： 演目「親子酒」

大店ののんべえ親子のお話し。お互い禁酒の提案をする。親父の方、しばらくはいいがだんだん怪しくなる。せがれの居ない時、「寒い時に体を温めるものは」などとカミさんを押し倒して1パイ、更に1パイと次々と。遂にベロベロに。そこにせがれが帰ってくる。こちらもぐてんぐてん。親父「なぜお前は酒を飲みたがる。こいつの顔が5つも6つにも見える。化け物だね。こんなせがれに店は渡せねえ」「あたしだって、こんなぐるぐる回る店など欲しくもない」。

皆さん熱演でした。特に最後の五月小五郎さんの「親子酒」。親父さんがおカミさんを押し倒し、飲むほどにおカミさんに強要するくだりは見事でした。

演終了後、会場から質問を受け、それぞれの学部と年次は？3年生はいよいよ就職だが？など最後まで笑いが会場いっぱい。

（講座開設事業担当 坂元芳彦）